

町長と語ろう！

さまざまな地域や団体で

「車座懇談会」開催中！



町長と住民の皆さんがひざを交えて、町長に言いたいこと、聞いてみたいこと、何でも自由に語る「車座懇談会」。

平成16年9月から始まったこの懇談会は、自治会やさまざまな団体、グループで開催していただき、合計38回になりました（8月1日現在）。

今回は、その中から3つの懇談会の様子をご紹介します。車座懇談会の申し込みは、企画振興課 秘書広報担当 ☎6550へご連絡ください。

大字木津区

町の予算70億円は

何に使っているの？

◆とき 7月15日(土)

午後8時～10時

◆ところ 木津会議所

◆参加住民 24名

【懇談会の一部抜粋】

住民 町の年間予算が70億円余りと聞いても、実際に使っている実感がありません。例年「広報ひの」で掲載されるが、予算の内容をより詳細に、分かりやすくしてもらいたいです。



町長

今年も5月号やホームページに掲載しています。行政が書いたものは、

一般の方に分かりにくいものが多いのは確かであり、改善したいと思っています。予算の使い道で多いものとしては、広域関係（消防・ごみ処理など）、老人保健・介護保険特別会計への繰り出し、日野川土地改良などの関連費用（かんがい用水）、学校関係が挙げられます。

町としても、いろいろと努力したいと思っていますので、皆さんからの提案もお願いします。

そのほか、職員の意識改革をはじめ、河川や道路の整備についての要望などが出され、懇談されました。



日野町エコライフ推進協議会 分別リサイクル検討委員会



が出来るかを考えていく必要があると思います。

町長 「自律のまちづくり計画」に掲げている重点7項目のひとつに、「ごみの減量化・再資源化の促進」があります。分別リサイクルについて、住民の力を借りて、費用をかけずにやっていくことができないかと考えています。生ごみ処理について、「こういう方法があるよ」と知らせてもらえるといいですね。「牛乳パックはここへ」というふうに、女性会、PTA、行政など、町民が見てどこへ持って行くのかが分かる全体の表があるといいと思います。また、集落単位でリサイクルに関心を持っていただき、ボランティアでお世話いただく方がいればいいですね。

費用をかけずに、 分別リサイクルを！

◆とき 6月7日(水)

午後7時30分～9時30分

◆ところ 林業センター

◆参加住民 8名

【懇談会の一部抜粋】

住民 まずは、今やっている分別をきっちりしなければ…。

住民 生ごみ処理について、電気式処理器もやがてごみになります。生ごみを処理する人が、自分にどんなこと



日野町商工会青年部

町長はMTBを、 どう考えるているの？

◆とき 6月28日(水)

午後7時～9時

◆ところ 商工会館

◆参加住民 23名

【懇談会の一部抜粋】

住民 熊野の「グリム冒険の森」でグリムMTB(マウンテンバイク)フェスティバルをやっていますが、われわれ自身、町に浸透している実感がありません。イベントもいろいろやっていますが町民は振り向いてくれませんが、十禅師の伊澤優大(いざわゆうだい)さんが、MTBの世界選手権ジュニアの部に出場されるなどの成果も見られますが…。今年は、子どもが参加しやすいようにキッズレーズの参加区分を2つにしました。



町長 スタッフに、MTBに直接関係する人やご自分の商工業の売り上げに直結する人はいないように思います。日野は良いところだと知ってもらおうことが、このイベントの始まりだったでしょう。自分たちは地元をどれだけ知っているのでしょうか。日野祭、しゃくなげ溪や藤の寺に、遠方からたくさんの方が来られます。これは魅力がある証拠。団塊の世代が退職を迎える今後、田舎暮らしを求める傾向にあり、現実には、町内にも多くの方が移り住まれています。

住民 が地域の良さを実感し、定着することが大切です。そうすれば、交流人口が増え、経済の活性化にもつながります。そういう意味でMTBの取り組みは大きな意味があると思います。工夫して、地元の人たちにも来てもらうことが大切ですね。

そのほか、地域振興と観光行政についての質問も出され懇談されました。